

国会前集会で市民と野党が「連帯」を決意

総がかり行動実行委員会が国会開会日行動

国会開会日の20日12時から、総がかり行動実行委員会は衆院第二議員会館前で、国会開会日行動（国会前集会）を行いました。時折、雪がちらつくなか600人を超える人が参加して、「みんなの力で暴走止めよう」と声をあげました。

主催者を代表してあいさつした福山真劫さんは「総がかりの運動をスタートして3年目です。今年こそ本気で安倍政権を打倒する決意を固めたい。安倍政権の政策は、国民の支持を得ているわけではない。私たちがたたかいを大きくすれば、打倒は可能だ」と訴えました。政党を代表して民進党の福山哲郎、日本共産党の井上哲士、社民党の福島瑞穂の各参院議員、自由党の玉城デニー衆院議員、会派「沖縄の風」の伊波洋一参院議員の4野党1会派の国会議員があいさつしました。なお、日本共産党国会議員団からは16人が参加しました。各会派の代表は「市民と野党の共同を広げ、憲法を生かす新しい政治に転換する国会に」「共謀罪が今国会に提案されようとしているが、皆さんと一



緒に阻止したい」などとあいさつしました。

また、海渡雄一弁護士は、共謀罪が今国会提出の「検討法案」となっているとして、共謀罪の危険性について治安維持法を振り返りながら指摘し、三度廃案となった共謀罪を国会に提出させないとりくみを進めようとして訴えました。

米山淳子総がかり行動実行委員会運営委員がおこなった行動提起では、共謀罪阻止、戦争法廃止に向けた運動への力を合わせようとして訴えました。

参加者は「守れ、生かせ、憲法！」などと書かれたプラカードや横断幕を手に訴えました。東京都中央区の男性(69)は、「今国会では、共謀罪の成立が狙われています。戦前に戻ってしまいそうな政治を今年こそ変えたい」と語り、埼玉から参加した元教員の女性(63)は「今国会では共謀罪が提案されそう。戦争する国に向けて市民の運動を抑え込もうとしている。安倍政権は許せない」と話しました。【一部既報】

「共謀罪提出を許さない1・20院内集会」

会場いっぱい 340人

「共謀罪提出許さない1・20院内集会」が20日(国会開会日)に、参議院議員会館講堂で開催されました。「秘密保護法」廃止へ！実行委員会、解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会、日本マスコミ文化情報労組会議(MIC)、盗聴法廃止ネットワークの4者の共催です。

集会には会場いっぱいの340人が参加、共謀罪を許さないという熱気あふれる力強い集会となりました。

司会は、秘密保護法廃止へ！実行委員会の中森さん。「本日開会した国会の法案リストに共謀罪が入っている。4回目の廃案にしなければならない。何としても阻止しよう」と話しました。

(1) 主催団体代表挨拶 高田健さん(解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会)

「共謀罪は戦争法と一体のとんでもないもの。憲法施行70年の年の国会に提出されようとしている。安倍政権は、米国と一緒に戦争する国づくりに向けて、共謀罪を導入しようとしている。市民と野党の共闘を難しい中でも総選挙に向け、立ち上げ、勝利しよう。そして、共謀罪を阻止し、戦争法を廃止させよう。」

(2) 平岡秀夫さん(元法務大臣) 講演

「共謀罪(テロ等準備罪)の問題点」とのテーマで、短時間でしたが、共謀罪について、次の5点を強調しました。共謀罪とは、テロ等準備罪とは、②条約と法案の共謀罪、③共謀罪の適用問題(なにが問題か)、④対応策、⑤政府の説明は疑問。そのなかで、平岡氏は「TOC条約(国際越境組織犯罪防止条約)批准のためにと政府は説明するが、TOC条約は国際的な組織犯罪を防止するためのものであり、TOC条約批准には共謀罪は必要ない」と指摘しました。

(3) 国会議員連帯あいさつ

開催時刻に衆院本会議が開催されていたので、集会開会時には参院議員が参加し、衆院本会議終了後に、衆院議員が参加しました。

日本共産党	参院議員)	仁比聡平、井上哲士、山添拓、武田良介、吉良よし子、岩渕友
	衆院議員)	藤野保史、畑野君枝
民進党	参院議員)	真山勇一 衆院議員) 近藤昭一、逢坂誠二
社民党	参院議員)	福島瑞穂
沖縄の風	参院議員)	糸数慶子
自由党	参院議員)	山本太郎

◆国会議員あいさつ

<参議院>

民進党 真山氏 安倍政権は本気に成立させる構えである。本当に必要な法案か、考えてほしい。2020年にオリンピックがあるからテロ対策が必要というが、それならばテロ防止の法律をつくれれば良い。

社民党 福島氏 二人以上で相談すれば、共謀罪が成立してしまう。誰でも対象になるのが共謀罪。沖縄では共謀罪の先取りが行われている。市民の運動をつぶすためのものである。

共産党 仁比氏 一般人は対象にならないというが、治安維持法導入の際も同様のことが言われた。強権・独裁の安倍政権に、危険な共謀罪を持たせてはならない。市民と野党の『本気の共闘』を発展させ、共謀罪阻止、戦争法廃止を実現させよう。

<衆院議員>

民進党 逢坂氏 当初、政府はTOC条約に共謀罪を入れるには慎重だった。それが変わってしまった。米国と共同歩調をとるための準備ではないか。

共産党 畑野氏 野党結束して共謀罪を出させず、万一出したら廃案にさせたい。安倍首相は施政方針演説でテロなど組織犯罪への対策を強化する述べ、共謀罪への執念を見せた。
藤野氏 共謀罪を阻止するために全力をつくす。共謀罪は人と人の人間関係を壊す、社会を壊す。成立させてはいけない。

(4) 海渡雄一さんの講演

1) 共謀罪はなぜ違憲なのか。2) 政府への5点の反論、3) 治安維持法と共謀罪の3点について解明しました。政府への5点の反論では、①「普通の人」(一般人)を対象とすることは無いというが、治安維持法導入時と同様で、政府にはむかう人、政府に都合の悪い団体を対象にしていく。②準備行為を要件としたが、犯罪の構成要件ではない。③テロ防止のため、国際社会から求められているからというが、TOC条約はマフィア等の対策のためのものであり、条約批准とテロ対策は関係がない。④現在でも国連のテロ防止のための13の条約を日本は全て批准している。⑤対象犯罪は2006年時に与党から300個の案が提示され、2007年の自民党小委員会案では140個に減らされていた。しかし、今回は改めて676個が提示され、公明党の要請で300個に減らすという動きになっている。過去の経過から見れば茶番である。

(1) 市民代表の発言

① 桜井昌司さん(布川事件 えん罪被害者) 国民は共謀罪について知らない。知ってもらう必要がある。国会議員への働きかけも重要である。

② 木村さん(横浜事件国家賠償請求原告団) 亡くなった夫に代わり、国家賠償請求のたたかいに参加している。共謀罪は現代の治安維持法、阻止しなければならない。歴史を繰り返してはならない。

③ 国民救援会 岸田さん 共謀罪は法案を国会に提案させないたたかいが重要。全労連・自由法曹団と一緒にとりくんでいる内閣あての署名が19,450人分集まり、昨日提出した。

④ 日本民主法律協会 米倉さん 「話し合うだけで共謀」。話し合いだけで犯罪。盗聴法、司法取引が成立している段階での共謀罪はいよいよ危険。

⑤ 平和フォーラム・総がかり行動実行委員会 福山さん。参院選では野党共闘が2/3とられ



てしまった。今年はそうさせないと、本気の野党共闘をつくって欲しい。

(6) 当面の行動提起 出版労連 前田さん

秘密保護法! 廃止実行委員会が開催する「12月6日を忘れない6日行動」として2月6日には12時から衆議院第2議員会館前で集会をおこなうこと、同じ2月6日に共謀罪の提出を許さない議員要請行動をおこなう(14時～衆議院第2議員会館第3会議室集合、要請行動終了後まとめの集会) ことなどを提起しました。【一部既報】

東京のとくくみ 各地ですすむ市民連合などの結成!

文京区 「みんなで未来を選ぶ@文京台東中央 (ぶたちゅう)」が発足 1/15

衆議院小選挙区東京2区(文京区、台東区、中央区)で市民と野党の共闘で候補者擁立をめざす「みんなで未来を選ぶ@文京台東中央」の準備会が1月15日、台東区の区施設で開かれ、3区から41人が参加、同会が発足しました。政党からは、民進党2区予定候補者、社民党代表として文京区議が参加、それぞれあいさつ。日本共産党の予定候補者からはメッセージが届きました。

参加者は、準備会が呼びかけた「立憲主義の回復、安全保障関連法の廃止を目指します」、「個人の尊厳を擁護する政治の実現を目指します」を基本目標とすることで合意し、組織は個人参加とし、2区の野党統一候補の擁立を目指し、参議院選挙や地方選挙などにはかかわらないことを全員で確認しました。会略称として、文京、中央、台東の頭文字をとり「ぶたちゅう」を承認、会シンボルカラーなども決めました。必ず実名を使うなどMLの活用ルールを確認し、各区より3人の仮世話人を選び、当面、暫定事務局体制とすることで一致。次回会議開催日程も決めました。

目黒・世田谷 市民と野党の対話集会に78人 1/8 市民連合めぐろせたがや

本降りになった悪天候の1月8日夜、太子堂区民センター和室は、78人の参加者で熱気に溢れました。衆議院の目黒区と世田谷区の小選挙区に対応する「市民連合めぐろ・せたがや」(略称:めぐろせた)の第2回“ぶっちゃけ討論集会”「政策協定と統一候補で総選挙勝利を! ~市民&政党&団体の力で~」です。冒頭、鈴木国夫共同代表から、昨年4月1日結成からの経過を報告しました。続いて初参加の中村重美世田谷区労協議長が「世田谷における労働運動の共同のテーブル作り」について提起。そして顔なじみになっている5区の手塚よしお元民進党衆議院議員、宮本栄日本共産党予定候補、6区の落合貴之民進党衆議院議員、岸たけし共産党予定候補、羽田圭二社民党世田谷総支部代表の5氏が「我党はかくたかう」を率直に語りました。

参加者からは、「はやく一本化を!」「住民運動参加者の呼びかけで誕生した『めぐろせた』の原点を大事に」等々、時間不足で参加者の消化不良もありましたが“ぶっちゃけ討論集会”の意義を確認し、恒例の「野党と市民の共闘! 一本!」記念写真撮影で散会しました。1月24日には次回の「めぐろせた会議」が開催されます。

明日 24 日

監視社会を考える連続学習会

第3回「加速する監視カメラ社会化—顔認証と自動追跡」

共催 = 「秘密保護法」廃止へ! 実行委員会、盗聴法廃止ネット、共通番号いらぬネット

明日24日、監視社会を考える連続学習会第3回企画「加速する監視カメラ社会化—顔認証と自動追跡」が行われます。安倍政権のもとで、戦争する国づくりに欠かせない共謀罪まで国会に上程されようとしている今、急速に進められる監視社会、密告社会化の動きが急です。

共謀罪の国会提出を許さないためにも、監視社会化の危険性を深くつかむ学習会への参加を呼びかけます。

日時 = 1月24日(火) 18時30分～

会場 = 文京シビックセンター4F シルバーホール

資料代 = 500円